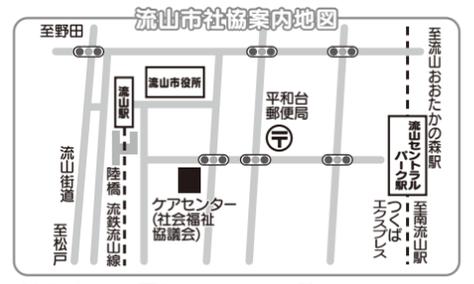




福祉だより



復興にはまだまだ時間を要する被災地（白井さん撮影）

今回の熊本地震の被災状況を一連の報道番組で観て、微力ですが、『自分でも何か力になれるのでは!』という思いで、ボランティアに行く決意をしました。

事前に市社会福祉協議会のボランティアセンターで『ボランティア活動保険』に加入し、市役所では『災害派遣等従事者』と本日活動のマッチングでその日に活動内容が決定します。とてもシステムチックで、東日本大震災の教訓を生かし、国がしっかり動いているなあという印象を受けました。



平成29年度からの5か年計画を策定

流山市社会福祉協議会の地域福祉活動の指針となる「第2次流山市地域福祉活動計画」の策定が始まりました。この計画は、平成29年度から同33年度までの5か年の方向性や具体的な活動計画を決めるものです。

今年度で終了する第1次の同計画は、昨年末に事務局長を座長に達成状況を総括、各事業の評価・分析などの「事業評価」を行いました。また、市内4地域で、地区社会福祉

車両証明書』の交付を受け、仕事を終えた後、家用車で高校時代の陸上部の後輩と2人で熊本へ向けて出発しました。

熊本に着いたのは15時間後の朝6時半。そのまま熊本市のボランティアセンターの受付に並び、オリエンテーションを受け、ボランティア参加者と本日の活動ニーズとのマッチングでその日に活動内容が決定します。

は、倒れた家具等の整理や粗大ごみの処分など。まる1日の作業で、大変喜んでくださったので、「来て良かった」と実感しました。



白井学さん

など住環境向上に関わる活動を行いました。また、活動後には熊本城を見てきましたが、2年前に息子と旅で見た熊本城からは大きく変貌していて声も出ませんでした。今回の活動は、移

熊本地震により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々、関係者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

流山市社会福祉協議会 会長 鈴木孝夫

熊本地震

広がる支援の輪

もう一度、被災地へ行きたい

4月14日の熊本地震、5年前の東日本大震災、社会福祉協議会は災害時には、他県からのボランティアを受け入れるなどの機能を課せられているボランティアセンターを有しています。そこで、

今回4月末から5月の大型連休を利用して熊本地震の被災地へ行き、ボランティア活動をされた西初石6丁目にお住まいの白井学さん(42)にお話を伺いました。

共同募金にご協力を!

動に2日間、活動に2日間、計4日間でしたが、貴重な経験が出来たと思います。現地では圧倒的に人手が不足していますし、復興にはかなりの時間を要すると思います。まだ余震が続いているので、気をつけなければいけません。タイムリミットをみて、もう一度、現地へ行きたいと考えています。

千葉県共同募金会流山市支会の事務局であります流山市社会福祉協議会としましては募金箱を公共施設等に設置させていただきます。SNS等でもご協力を呼び掛けさせていただきます。

小・中・高校と地区社協 パッケージ指定で協働へ 本町活性化なども模索



ミニ行灯づくりも

福祉教育を推進 子どもも中高年者も一緒に

5月11日、市社会福祉協議会が今年度初の「福祉教育推進連絡会議(玉ノ井新一会長)」が開催されました。

これは、千葉県より、平成27年度から平成29年度までの3年間を福祉教育推進校として流山小学校、南部中学校、県立流山南高等学校が指定を受け、一方で、福祉教育推進団体として、本会が活動支援を行っている流山中央地区社会福祉協議会が千葉県社会福祉協議会より指定を受け、「学校・地域」が協力し地域福祉の向上のための啓発や実践活動を続けているものです。

これまでも、各学校において福祉教育についての取り組み、地区社協においても地域における福祉活動を展開していますが、パッケージ指定を受けたことにより、「福祉」について学校と地域とが共通

の認識を持ち、それぞれの役割を担い、協働の活動に力を入れていきます。具体的取り組みとしては、地区社協が毎年、敬老週間に流山小学校との共催によって同体育館を会場に開催している「地区敬老会(シニアと児童のつどい)」に、南部中学校と流山南高等学校の参加要請をして開催を検討しているをはじめ、地区社協が、年3回、流山・赤城・平和台の各福祉



活発な議論が交わされた会議

会館を会場に同時開催している「高齢者いきいきサロン」についても、南部中学校や流

山南高校の参加の可能性等が検討されています。また、現在、流山本町の活性化の一環として取り組まれている「行灯」についても、地域の方がミニ行灯の作製方法を小・中・高生に伝授。本町内で行われるイベント等に活用したいとの提案がなされ、実現に向けて話し合いが進められています。今回の指定は、限られたエリアでの活動ですが、「他の地域での地区社会福祉協議会の活動でもこれからの参考に」と期待が寄せられています。

社会福祉協議会は 会費で支えられています 法人・賛助会員のご協力を

社会福祉協議会の活動は、各自治会の協力員の皆様のご協力によりお寄せいただいています。「普通会员」の方々の会費をはじめ、「法人会員」、「賛助会員」の方々からの会費で支えられています。より多くの皆様からのご賛同をお待ちしています。

法人会員会費は一口一万円、賛助会員会費は一口千円です。

- ▼小山 忠士(千円) ▼佐久間 進(二万円) ▼市川 晃三(三万円) ▼樋山 史郎(千円) ▼嶋 稔(千円) ▼中山 喜方(千円) ▼新島

- 茂樹(千円) ▼大谷 満男(千円) ▼吉田 孝(千円) ▼山崎 奈加子(千円) ▼鈴木 陽代(千円) ▼杉山 仁(千円) ▼小林 悠紀雄(千円) ▼塚本 時子(千円) ▼上原 妙子(千円) ▼宇佐見 健一(二万円) ▼山梨 美代子(五万円) ▼菅原 美代子(二万円) ▼櫻村 あい子(二万円) ▼宮野 忠夫(五万円) ▼敬称略・順不同(2月16日〜5月31日)。

土曜・祝日も開所 身体障害者サービスを拡充

お身体にハンディをお持ちの方々のデイサービスが、4月から土曜日や祝日もオープンしています。流山市ケアセンター内の身

を単位に組織されています。地域にお住いの方々が主体となつて、支え合い、助け合いの仕組みづくりを行う自主組織です。その構成は、ボランティアの皆さんや、老人クラブの方々などが中心となっています。

当センターでは、給食サービス、入浴サービスのほか、専門講師による機能訓練(理学療法・作業療法・音楽療法)

や作業レクリエーション(専門講師による七宝焼き・木彫り・書道・絵画等)などの各種サービスを提供しています。

活動支援センター事業の利用の決定がなされた方②市内に住所を有する65歳未満の方で、介護保険を利用されている方③自力で食事がとれ、椅子(車椅子も含む)での生活ができる方です。

16番目の地区社協 おおたかの森地区に誕生

5月10日、おおたかの森小学校で「おおたかの森地区社会福祉協議会(小泉勲会長)」の設立総会が行われました。

昨年度末から、小学校区内の主な自治会の代表者、民生委員・児童委員、小・中学校のPTA役員等の皆様が、話し合いを重ね、今回の設立に至ったものです。会議では5つの議案が承認され、構成団体の紹介などが和やかに行われました。

他の地区社会福祉協議会に比べ小・中学校のPTA役員の方が多数参加されているのが特徴です。

おおたかの森小・中学校を中心に、併設されているおおたかの森センターなども活動拠点として、新しくこの地域に転入された方、従来からこの地域で暮らされている方が手を携えて新しいまちにふさわしい地区社会福祉協議会を運営されていくことが期待さ



PTAの参加が多いおおたかの森地区

地区社会福祉協議会は「地区社協」と呼ばれ、小学校区

地区社協の活動は、各自治会の協力員の皆様を通して納入いただく社会福祉協議会の会費や共同募金の配分金、市からの助成金等で支えられています。



理学療法士や絵画の指導も受けられる身体障害者デイサービス

個々の障害の状態に応じた心身機能の維持・向上、家庭内自立、社会参加を促進し、併せてご家族の身体的・精神的なご負担の軽減を目指しています。ご利用いただける対象者は、①身体障害者手帳(1級〜2級)を交付され、流山市地域



熱意と資格を活かしてイキイキ！ 社会福祉協議会の職員を募集

社会福祉協議会では、下記のとおり職員を募集しています。熱意や資格を活かして福祉の現場で一緒に働きませんか。ぜひ、ご応募を！

①南部地域包括支援センター正規職員

○**主な仕事の内容**＝地域の高齢者等の心身の健康の維持、生活の安定、保健・福祉・医療の向上と増進のため必要な援助、支援を包括的に担う地域の中核機関です
○**募集対象及び初任給(地域手当等含む)**＝保健師(186,224円)、看護師(165,418円※准看護師は不可・地域ケア、地域保険等に関する経験があればなお可)、主任介護支援専門員(200,559円)、社会福祉士(186,224円)のいずれかの資格を持つ方(1人) ○**勤務場所**＝流山市社会福祉協議会(流山市ケアセンター内)
○**勤務**＝シフト制により週5日、8時30分～17時15分(休憩1時間含む) ○**応募方法**＝募集要項を確認のうえ申込書、履歴書(市販・写真貼付)、卒業と資格を証明するものを直接または郵送で7月11日までに社会福祉協議会総務係(〒270-0157 流山市平和台2-1-2)へ

②学童クラブ児童指導員

○**主な仕事の内容**＝児童(1～3年生)に対し保護者が迎えにくるまでの見守りや遊びの指導、おやつ提供等をして頂く仕事です ○**勤務先**＝鰯ヶ崎小学校及び南流山小学校敷地内

【嘱託指導員】

○**月額141,900円** ○**資格**＝学校教諭・幼稚園教諭・保育士・社会福祉士等の有資格者・都道府県が実施する放課後児童支援員認定資格研修修了者 ○**勤務日**＝月曜日から土曜日のうち週5日勤務(シフト制) ○**勤務時間**＝原則、午後12時30分から午後7時までの間で6時間。但し、春・夏・冬休みは午前8時から午後7時まで。夜間保育がある場合は最大午後9時まで ○**待遇等**＝資格手当、期末手当(年間2.7ヶ月分)、通勤手当、有給休暇あり、社会保険(健康保険、厚生年金保険)・雇用保険記入・労災保険適用 ○**応募方法**＝履歴書(市販・写真貼付)、職務経歴書が自己PR書、資格を証明するもののコピーを直接持参または郵送で社会福祉協議会地域福祉係へ

【臨時指導員】

○**時給1,000円以上** ○**対象**＝保育に熱意のある方(学校教諭・幼稚園教諭・保育士等・社会福祉士の有資格者及び都道府県が実施する放課後児童支援員認定資格研修修了者は、時給1,020円) ○**勤務日**＝週3～4日程度、1日4～5時間程度(シフト制)。但し、夜間保育がある場合は最大午後9時まで。土曜日・春夏冬休みは、1日8時間程度 ○**待遇等**＝通勤手当、有給休暇あり

③流山市老人クラブ連合会事務局臨時職員

○**主な仕事の内容**＝流山市老人クラブ連合会(通称「さわやかクラブ流山」)の会議資料作成や企画などの事務局事務 ○**時給880円** ○**募集対象**＝ワード、エクセル、車の運転が可能なる方(2人) ○**勤務日**＝週3～4日程度、1日7時間勤務 ○**勤務場所**＝流山市社会福祉協議会(流山市ケアセンター内) ○**待遇等**＝通勤手当、有給休暇あり

詳細は、本会ホームページでもご覧いただけます。

☎ 社会福祉協議会 Tel.04-7159-4735

■利用料

ご相談は無料です。契約後、サービスをご利用の際、下表の金額をご負担いただきます。

サービス区分	利用者の負担額
(1)福祉サービス利用援助	援助時間が30分まで500円 (以降30分を超えるごとに500円)
(2)財産管理サービス	3,000円(年額)
(3)財産保全サービス	3,600円

※生活保護世帯は無料。このほか、生活支援員の移動時間により交通費がかかります。

「福祉サービスを利用したけれど、手続きがわからない」、「公共料金や医療費の支払い、銀行での払い戻しがうまくいかない」、「役所から届く書類の内容が難しく、どう対応したらよいかわからない」…。日常生活自立支援事業は、このような場合に、福祉サービスの利用手続きや金銭管理のお手伝いなどを行う事業です。ご利用いただける方は、主

ひまわり第2学童クラブ



バリアフリー設計で安全に

この新設によって就労・子育ての両面への支援の充実が図られました。多機能型トイレや玄関周りにはスロープも設置されバリアフリーに配慮された施設となっています。現在、1年生40名が元気に過ごしています。

鰯ヶ崎小学校の「ひまわり第2学童クラブ」が今春開所しました。流山市から指定管理者として社会福祉協議会が管理運営をしている「ひまわり学童クラブ」について、定員を上回る入所希望があったことから、流山市が同校敷地内に建設を進めてきたものです。

安全で安心な放課後を 子育てでも就労も支援

「ひまわり第2学童クラブ」の管理運営につきましては、社会福祉協議会が指定管理者となっている「ひまわり第1学童クラブ」や南流山小学校

の「あすなる学童クラブ」同様、子どもたちが安全に安心して、そして、いきいきと過ごせるよう努力していきます。

個人、団体からのご寄付 お寄せいただいた善意に感謝

流山市社会福祉協議会にご寄付をいただきました。ありがとうございます。福祉の向上のため大切に使用させていただきます。

- ▼JAとうかつ中央流山女性部(三万六千四百六十六円)
- ▼老人クラブ第2新栄会(一万四千二百二元)
- ▼北 孝子(五千円)
- ▼(株)ベルク流山 おたかの森店お客様一同(一万四千六百二十七円)
- ▼(株)ベルク流山東深井店お客様一同(七千五百四十三円)
- ▼匿名(二万五千元)
- ▼市原 彦(三千五百円)
- ▼老人クラブ東和会(二万九千九百九十一円)
- ▼関 京子(二千元)
- ▼老人クラブ天寿会(二万二千五百四十四円)
- ▼(株)マルエツ(十万円)
- また、次の方々から物品のご寄付をいただきました。
- ▼JAとうかつ中央流山女性部(タオル等27袋)
- ▼西初石6丁目自治会(タオル7枚、雑巾22枚)
- ▼匿名(玄米30kg)

日常生活自立支援事業のご案内

社会福祉協議会では、高齢者や障害者の方々が、地域で安心して生活が続けられるよう「日常生活自立支援事業」を行っています。

社会福祉協議会の予算・決算

平成28年度予算は、3月8日の三役会を経て3月17、18日開催の理事会、評議員会において承認され、社会福祉事業区分収入支出385,380千円、公益事業区分91,084千円、収益事業区分1,620千円となりました。

また、平成27年度決算は、5月9日の監査を経て5月13日、17日の理事会、評議員会において認定され社会福祉事業区分収入支出520,747,588円、公益事業区分97,650,135円、収益事業区分1,325,338円となりました。

詳細は本会ホームページでご覧いただけます。



5月9日に行われた決算監査

に在宅で生活されている高齢の方や障害をお持ちの方で、福祉サービスの利用や金銭管理等がうまくできない方で、利用に必要な契約の内容をご理解いただける方(入院・施設入所の方でもご利用いただけます)です。

主なサービス内容は、「福祉サービス利用援助」、「財産管理サービス」、「財産保全サービス」です。なお、このサービスのご利用には、サービス内容等によって利用料がかかります。

☎ 社会福祉協議会地域福祉係 Tel.04-7159-4735

社会福祉協議会の後援イベント

第6回流山ジャズフェスティバル

期日：7月16日(土)～9月3日(土)
会場：流山市文化会館、流山市生涯学習センター、他会場に熊本地震の募金箱を置かせていただきます。オープニングは猪俣猛ジャズオーケストラです。また、この一環として8月6日(土)には平和都市宣言のまち流山で広島平和記念公園の折鶴の物語を浪曲公演する企画などもあります。

☎ 実行委員会事務局(流山市生涯学習センター) Tel.04-7150-7474



第1回福祉のしごと就職フェアinちば

日時：7月17日(日) 13時～16時
会場：幕張メッセ国際会議場(千葉市)
採用担当者との面談や相談ができます。参加費無料、履歴書不要、入退場自由。

☎ 千葉県社会福祉協議会(千葉県福祉人材センター) Tel.043-222-1294

40周年愛のふれあいチャリティ発表会

日時：9月4日(日) 9時30分開演
会場：流山市文化会館
出場申込は7月15日まで(カラオケ5,000円、デュエット6,000円、舞踊6,000円)。会場に募金箱を置かせていただき市や社会福祉協議会に寄付します。

☎ 流山市カラオケ演芸協会・染谷 Tel.090-8343-3020または Tel・Fax 04-7138-5565

※この他に、「ラジオ体操・みんなの体操会」も後援させていただきます。詳細が決まり次第、ホームページでお知らせします。

宮園自治会館を活動拠点に昭和52年から公演などを続けている「人形劇ピッコロ」の皆さんが緑綬褒章を受章されました。

発足当時は、幼児向けと、小学生低学年向けの舞台が主でしたが、最近では、0才児

子どもたちの夢を育み39年 人形劇ピッコロが緑綬褒章の栄



5月13日、社会福祉協議会・鈴木会長を囲んで

流山市ボランティアセンターに登録し、公演活動などを続けている人形劇ピッコロの皆さんが春の叙勲・褒章で緑綬褒章に閣議決定、5月11日、厚生労働省で伝達式が、皇居宮殿において拝謁の栄に輝きました。

5月13日には4人の皆さんが社会福祉協議会の鈴木会長を訪れ、受章の喜びをご報告くださいました。

も含んだ乳幼児向け、そして、介護施設での高齢者向け舞台も多くなりました。

「この昔話で、勇気とやさしさを学んでほしい」などとストーリーやそこに込められた美的なものを重視したこともありましたが、現在では「ご高齢の方々や親子で、ほっとできる時間と空間を共有したい」という思いに変わってきているそうです。

これまでに千公演を超え、観客動員も14万人を数えました。

現在のメンバーは、創始者でリーダーのシナリオ、人形づくり担当・貴島真理子さん、活動歴36年で記録担当の中井康子さん、同じく36年目で広報担当の北澤美枝さん、参加して27年目で衣装担当の松本好美さんの4人の皆さんです。

ボランティアセンター通信

流山市ボランティアセンター(社会福祉協議会内)
TEL 04-7159-4939
FAX 04-7159-4736
E-mail volcen@nagareyamashakyo.com

入門講座にご参加を

講話や実技で多彩に学ぶ

ボランティアセンターでは、「ボランティア入門講座」の参加者を募集します。

「これから何か始めたい」とお考えの方、まずは身近な地域で、できることから始めてみませんか？

この講座は、実際にボラン

▼日時 7月28日(木) 10

時 16時30分▼会場 流山市ケアセンター4階研修室▼内容 「ボランティアの楽しさ

と喜び、地域での絆を創る」、アイマスク・白杖体験、車イス試乗、介助体験、座談会「ボランティア活動を長く継続するために、ボランティア活動者の事例を踏まえて」(内容は一部変更となる場合もありますので、あらかじめご了承ください)▼講師 江戸川大学総合福祉専門学校派遣講師、登録ボランティア活動者▼対象 市内にお住まい

でボランティア活動に関心のある方▼定員 30人(先着順、定員になり次第締め切り)▼費用 無料▼お申し込み電話、またはお名前・年齢・ご住所・電話番号・メールアドレスを明記の上、ファックスまたはメールで流山市ボランティアセンターへ



介護支援サポーター

養成講座と説明会

社会貢献をしながら介護予防を

ボランティアセンターでは、流山市の委託を受け、介護支援サポーターの事業説明会と養成講座を開催します。

介護支援サポーター制度は、介護保険施設等でのサポートー活動を通して、自分の健康を維持・増進しながら、活動

の中で貯めたポイントを実績に応じた「交付金」や「なごほんポイント」として受け取ることのできる社会参加による地域貢献活動です。

5月末現在五百二十六名の65歳以上の市民の皆さんが介護支援サポーターとして登録

し、その約半数の方々が市内の66か所の介護保険施設等で元気に活動されています。

介護支援サポーター登録をして活動するためには、「介護支援サポーター養成講座」の受講が必要です。

あなたも介護支援サポーター

1) になって、いきいきと活動してみませんか？

なお、事業説明会では介護支援サポーター事業の詳しい内容をお話しいたしますが、参加は任意です。

【事業説明会】(申し込み不要) 7月6日(水) 北部公民館13時30分~15時(無料)

【養成講座】(事前申し込み制) 6月21日(火) 南流山センター、7月22日(金) 初石公民館、9月6日(火) 北部公民館、9月27日(火) 生涯学習センター(流山エルズ) 養成講座の時間はいずれも9時50分~16時(無料)

▼対象 要介護・要支援認定を受けていない65歳以上の流山市民▼活動先 市内の特別養護老人ホーム、デイサービスセンターなどの介護保険施設▼サポーター活動の内容 施設利用者の見守り、話し相手、レクリエーションの指導や補助、配膳、洗濯物たみ、催事の手伝いなど



4月にケアセンターで開催された介護支援サポーター養成講座

ボランティアレポート報告(敬称略) H28.2.16~5.31 集計分(単位:枚)

	切手	ベルマーク	カード類		切手	ベルマーク	カード類
(株)ア本太	1,438	3	111	流山市手話サークル連絡協議会	3,269	4	351
(株)北盛工業	746	1	0	流山北小地区ボランティアグループ	303	348	1
(株)市村工業	2,750	0	7	流山市身体障害者福祉会	90	0	0
流山工業団地合同組合	12,341	155	0	天寿会	368	0	0
千葉県理容生活衛生同業組合	248	232	0	東3おもと会	1,415	379	2
ヨークマート店	3,421	920	39	あじさいの会	6,085	607	0
東初石1丁目会	0	0	159	ポプリー会	677	69	0
前みやびの会	2,318	0	0	野ばら会	370	226	12
西初石5丁目会	919	48	2	あひるの会	670	16	0
西初石6丁目会	8,196	0	49	花園会	0	32	0
JAとうかつ中央流山女性部	3,638	0	0	流山市訪問看護ステーション	380	0	0
※流山福祉会館	172	34	0	※東部公民館	5,161	168	2
※福野々下館	578	384	7	※初石公民館	2,018	400	3
※福南流山館	1,890	0	0	※北部公民館	2,754	682	47
※赤城福祉会館	253	0	0	※中央公民館	352	0	3
流山郵便局	4,295	65	8	※森の図書館	5,621	220	4
※流山市コミュニティプラザ	154	52	0	※キッコーマンアリーナ	507	57	0
流山市役所	8,913	3	167	※ボランティアセンター	6,707	265	195
※は、ボランティアレポート設置場所です。				合 計	89,017	5,370	1,169